

チケット

1日通し券 (全席自由席/整理番号制)

前売券: 2,000円 (Pコード: 551-024)
 当日券: 2,500円 (当日12時より販売予定)

前売券は、**チケットぴあ**にて発売中!
 (インターネット、ぴあ店舗、セブン-イレブンで購入可能)



前売券の販売は、3/19(木)まで。前売券が完売した場合、当日券の販売はありません。発券手数料、システム手数料はかかりません。
 前売券は必ず発券して会場までお越しください。会場では発券できません。チケットの払い戻し、交換、再発行はできません。

会場 丸ビルホール

東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル7階
 (JR東京駅丸の内南口より徒歩1分/
 丸の内線東京駅および千代田線二重橋前駅より直結)



PFF 検索 🔍

More information in English →

主催



オフィシャルパートナー



特別協力



人を、想う力。街を、想う力。

オフィシャルサポーター



人を、想う力。街を、想う力。

特別協賛



協賛



賛助

アテネ・フランセ文化事業(株)/(株)伊藤園/(株)IMAGICA Lab./エイベックス・ピクチャーズ(株)/キングレコード(株)/クエストルーム(株)/(有)スタンス・カンパニー/
 チケットぴあ九州(株)/チケットぴあ名古屋(株)/(株)夏への扉/日本映画放送(株)/(株)パップ/(株)PIVOT/フィルミネーション(株)/(有)プレス/(株)マンハッタンビーブル/(株)みずほ銀行



第1回 大島渚賞



深海に生きる魚族のように、
 自らが燃えなければ、
 何処にも光はない

第1回受賞者決定! **小田 香** ODA KAORI

記念上映会 **3/20** 【金・祝】 丸ビルホール

【上映作品】『セノータ』『青春残酷物語』 小田 香×坂本龍一×黒沢 清
 【上映後 ゲストトーク】

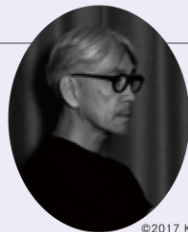
第1回「大島渚賞」受賞者



©Miura Hiroyuki

小田 香 ODA KAORI

1987年大阪府生まれ。
 イメージと音を通して人間の記憶(声) — 私たちはどこから来て、どこに向かっているのか — を探究するフィルムメーカー／アーティスト。
 2013年、映画監督のタル・ペーラ(『サタンタンゴ』『ニーチェの馬』)が陣頭指揮する若手映画作家育成プログラム「film.factory」(3年間の映画制作博士課程)に第1期生として参加し、16年に同プログラムを修了。
 14年度ポーラ美術振興財団在外研究員。15年、ボスニアの炭鉱に入った第一長編作品『鉱 ARAGANE』が大きな話題を呼び、16年劇場公開。17年エッセイ映画『あの優しさへ』が完成。19年最新作長編『セノーテ』を発表し、山形国際ドキュメンタリー映画祭、ロッテルダム国際映画祭でプレミア上映。6月には劇場公開予定。



【審査員長】
坂本龍一
 (音楽家)

©2017 Kab Inc.



【審査員】
黒沢 清
 (映画監督)



【審査員】
荒木啓子
 (PFFディレクター)

大島渚賞とは

1977年から40年以上にわたり、国内外に自主映画を紹介してきた、ぴあフィルムフェスティバル(PFF)。そのPFFが続けてきた、映画の新しい才能を発見する「PFFアワード」、その才能を育成する「PFFスカラシップ」という、新人監督の発見及び育成とは別の、新たなステップとして今年度より創設されました。かつて大島監督が挑んだように、世界に羽ばたく国際的な才能を顕彰する賞、それが「大島渚賞」です。 ※本賞は、<劇場公開作品を持つ監督>に贈られます。



大島 渚 OSHIMA NAGISA

1932年、京都府生まれ。54年、京都大学法学部を卒業し、松竹に助監督として入社。59年『愛と希望の街』で監督デビュー。『青春残酷物語』『日本の夜と霧』などで新鮮な技法を見せ、一躍脚光を浴びる。61年に松竹を退社し、独立プロ「創造社」を設立。以後、『日本春歌考』『絞死刑』『少年』『儀式』などを監督した。
 75年「大島渚プロダクション」を設立。76年、日仏合作映画『愛のコリーダ』が海外で高い評価を得て、78年『愛の亡霊』で第31回カンヌ映画祭の最優秀監督賞を受賞。その他に『戦場のメリークリスマス』『マックス、モン・アムール』などの海外合作映画も発表した。79年から88年まで「ぴあフィルムフェスティバル」の審査員を務め、99年『御法度』を制作。01年にはフランス芸術文化勲章を授与された。2013年に80歳で永眠。「深海に生きる魚族のように、自らが燃えなければ、何処にも光はない」(明石海人詩)は大島監督の座右の銘であり、その墓碑にも直筆で記されている。

記念上映会

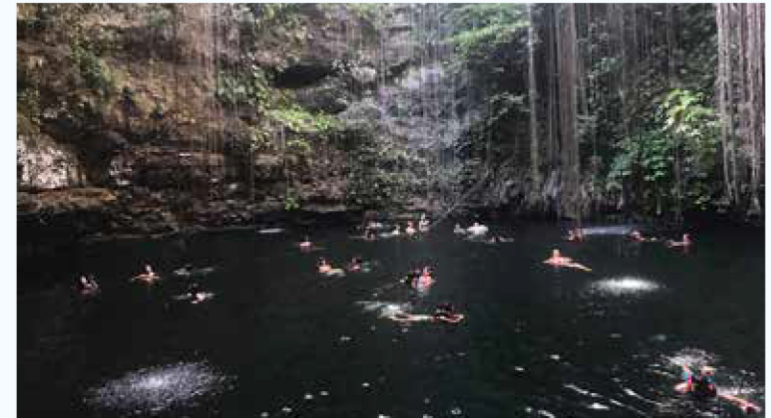
※大島渚賞記念上映会では、毎回、受賞監督作品と大島渚監督作品を上映します。
 ※本企画は毎年、大島監督の誕生月である3月に開催予定です。

第1回大島渚賞 受賞記念上映

『セノーテ』

原題: TS'ONOT
 英題: Cenote

メキシコ、ユカタン半島の北部に点在する洞窟内の泉「セノーテ」。マヤ文明の時代から、現世と黄泉を結ぶと信じられてきたセノーテでは、かつて雨乞いの儀式のために人々が生贄として捧げられてきた。神秘的で美しい水源の映像と、セノーテをめぐる歴史と記憶が交差していく…。小田監督が自らダイビングを学び、水中撮影に挑んだ意欲作。



©Oda Kaori

2019年/75分/デジタル【日本語/英語字幕付き上映】
 監督・撮影・編集: 小田 香

大島渚監督作 同時上映

『青春残酷物語』

デジタル修復版

“松竹ヌーヴェルヴァーグ”の言葉を生み、大島渚の名を世に知らしめた、初期の伝説的作品。セックス&バイオレンスなく青春>、生の実感の掴めない青春> — 青春の普遍的なテーマをエッジの効いた言葉と映像で描き、本作で第1回日本映画監督協会新人賞を受賞したオリジナル作品。



©1960/2014 松竹株式会社

1960年/96分/デジタル【英語字幕付き上映】
 監督・脚本: 大島 渚
 出演: 桑野みゆき、川津祐介、久我美子

上映後 ゲストトーク

小田 香 監督 × **坂本龍一** × **黒沢 清**
 (第1回大島渚賞 受賞者) (音楽家/審査員長) (映画監督/審査員)

【タイムテーブル】

13:00～	13:30～	14:50～	15:50～
開場 ※チケット整理番号順入場	『セノーテ』 上映時間 75分	上映後ゲストトーク 小田 香 × 坂本龍一 × 黒沢 清	『青春残酷物語』 上映時間 96分

※17:30 終了予定。途中休憩あり